

令和8年度 浜中中学校 グランドデザイン

学校教育目標

共に学び、共に生きる主体的な存在を目指して

目指す
生徒像

- 1, 目標を持って学び続け、新しい未来を創造する生徒
- 2, 多様な他者と協働しながら、自らの人生に挑戦し続ける生徒
- 3, たくましい心と身体を目指し、自ら生活改善を続ける生徒

目指す教師像

- 1, 強い教育的愛情と責任感を備えた教師
- 2, 自ら学び続け、専門性を磨く教師
- 3, チームを意識し、組織的・協働的に動く教師

目指す学校像

- 1, 生徒へ⇒いきいきと学び、明るく過ごせる学校
- 2, 保護者・地域へ⇒期待と信頼に応える学校
- 3, 教職員へ⇒チーム全員が働きがいを持てる学校

今年度の経営重点

「自律した学び」の実現を！

- * 教師は⇒「わかった、できた」（授業内での成功経験）と「スモールステップ」（次に目指すべき目標や課題）を生徒に提供。
- * 生徒の⇒長期目標（進路）と短期目標（教科毎のスモールステップ）をクリアするために、必要な学びを自分で調整する力を高める。

「なりたい自分（探し）」につながるキャリア教育を！
興味関心、適性に基づく進路選択（なりたい自分探し）をサポートし、実社会でも必要な資質能力を伸ばす。

自他を大切にする優しさと、しなやかで折れぬ強さを！
それぞれの個性を受け入れ、皆と協力しながら様々な困難や課題に粘り強く取り組める心を育てる。

経営方針（本校が目指す基本的な姿勢・考え・方向性／4本の柱と18項目） School Policy

1, 確かな学力と 学び続ける力の定着

【授業】

- ★「わかった、できた」が実感できる授業作りを進めます。（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る）
- ★主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業改善を進めます。（手段として、ICTや外部人材も効果的に活用）

【自学自習】

- ★見通し（テスト、作品、レポート等の評価物と評価時期）を持たせることで、学習の自己調整（自主学習の内容、量）を促します。
- ★家庭と連携し、生徒が「課題」の意義（何のため）を理解した上で、自ら取り組む姿勢を育みます。

2, 生徒個々の自己教育力 を伸ばす生徒指導

【生徒理解】

- ★教育相談、各種調査、普段のコミュニケーションを通じて細やかな生徒理解を進めます。

【生徒指導・支援】

- ★一人一人の悩みや課題に丁寧に寄り添います。
- ★メディアコントロールを軸とする、生活リズムの改善に取り組みます。

【キャリア教育】

- ★「どこへ行く」ではなく、「何をしたい」で考えさせる進路指導を行います。
- ★職業観（視野の拡大）と労働観（働くとは）を培うキャリア教育に取り組みます。

3, 共感的で寛容性の 高い集団作り

【学級経営・縦割り活動】

- ★学級や縦割りチーム等の中で、「役立つ自分」が実感（自己有用感）できる活動を工夫します。
- ★生徒による主体的な集団活動を支援します。
- ★「いじめは何があっても許されない」という価値観を醸成します。

【インクルーシブ教育】

- ★全ての生徒に輝く機会が与えられる活動を工夫します。
- ★相互理解（誰かを特別扱いしない、させない）と寛容性に基づく合理的な支援を進めます。

4, 小中連携と 地学協働の推進

【地域に開かれた学校】

- ★保護者のみならず、CS委員等の地域住民の方々にも参加していただける催し（授業参観、学校行事等）を工夫します。
- ★地域の教育資源（人材、施設、自然等）の活用を図ります。
- ★積極的な情報発信（学校便り、ホームページ等）を行います。

【小中連携】

- ★義務教育9年間の学びを連続したものにするため、教職員及び児童生徒の連携・交流を進めます。

浜中中学校を支える組織マネジメント（教職員個々のパフォーマンスの向上が、チームとしての成長に繋がる）

土台

- 心理的安全性の高い職員室
- 情報共有、共通行動の徹底（カクレンボウ／確認・連絡・報告）
- 研修の充実（授業改善、生徒理解、コンプライアンスほか）
- 実効性のある働き方改革
- 学校経営への教職員の主体的参画